



中 田 小

平成28年9月30日

## 学 校 教 育 目 標

さわやか笑顔中田っ子 思い合い ひびきあい  
共に生きる力を育てます。

## 中田小ホームページ

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nakada/>

## 学舎 (まなびや)

校長 蒲谷 猛

## 『故郷の空』

大和田建樹作詞  
スコットランド民謡

夕空はれて、秋風ふき  
つきかげ落ちて、鈴虫鳴く  
思えば遠し、故郷の空  
ああ、わが父母、いかにおわす

すみゆく水に、  
秋萩(あきはぎ)たれ  
玉なす露は、すすきにみつ  
おもえば似たり 故郷の野辺  
ああ、わが兄弟(はらから)、  
たれと遊ぶ



今年度がスタートする直前の4月3日、相模原市立青根小学校が全焼するという悲惨な出来事がありました。入学式・始業式直前でもあり、その対応がどれだけ大変だったかは想像するに難くありません。青根小学校は、神奈川県内の小学校で最も古い現役の木造校舎でした。総ヒノキ造りで、市の登録有形文化財に指定されていましたが、この校舎は、木材の切り出しから工事まで地元住民が協力して建て直した地域の宝だったそうです。地域全体で心を痛める悲しい事案になってしまいましたが、「学舎(まなびや)」がいかに人々の中心にあるか、改めて私の心に刻み込まれる機会にもなりました。

自分の話で恐縮ですが、そう言えば、私が小学校低学年のころは、木造校舎で生活しました。今でも、その外観や、室内の特に床の様子などよく覚えています。また、木枠にガラスのはまった教室の窓は、二重になっていて、窓と窓の間の通路のようなところに上って、友だちと追いかっこをよくしたことも懐かしい思い出です。厚木飛行場のエンジン調整音や飛行音がうるさいので、そんな構造になっていたのです。あまりはっきりとは覚えていませんが、卒業するまでにはすべての校舎が鉄筋に変わりました。母校の目の前の医院に今も通っています(ドクターが同級生)ので、配置や建物は変われど、訪れる度にいろいろな思い出が今でも鮮明によみがえってきます。

ところで、中田小学校は、今年度創立65周年です。末尾が「0」の年ではありませんので、大きなお祝いはいませんが、一つの節目となるように、航空写真撮影、創立65周年記念式、創立65周年を祝う会をおこなうことにしました。9月26日におこなった記念式には、同窓会長の小島光男さん(3期生)に来ていただいて、当時の学校の様子や中田の町の様子についてお話ししていただきました。年度の途中で現在の場所に移ったこと、二間続きの教室をその代用に使っていたこと、兵舎を利用していたので雨漏りがして、傘をさしながら授業を受けた思い出もあること、長後街道と正門を結ぶ道はなく、地域の方の協力で後からつくったことなど、ご自身の体験をもとにその当時の様子を実際に思い出しながら語っていただいたこの時間は大変貴重な機会になりました。7月13日に中島孝さん(9期生)にお話しいただいた内容とあわせて、子どもたちは自校の歴史

を知り、愛校心を高めることができたのではないかと思います。

現在の1年生が6年生になったときは、創立70周年の諸活動が展開されることとなります。きっとその時には、中田小学校の在校生代表として活躍してくれていることでしょう。これまでの先輩方、そしてこの学校を見守ってくださっている多くの方が築いてきた有形無形の伝統を受け継ぎながら、さらにこれからの5年間で、それを発展させていくことができるように、一日一日の学校生活を充実させていきたいと思いを新たにしています。